

### 受託金低すぎないか

**問** 岩沼市ではここ十数年の平均で児童生徒一人当たり16万円から17万円の経費が掛かっている。2万1000円、2万4000円の受託金ではあまりにも低すぎる。仙台は仙台、岩沼は岩沼である。岩沼市民の税金をかなり投入している。検討すべきではないか。

**教育長** 岩沼の最近5年間の一人当たりの教育費は、平均で小学校12万円、中学校20万円前後です。

地域外就学受託金の2万1000円、2万4000円は、昭和54年に取り決めました。義務教育費として国から児童10万円、生徒17万円の交付金も来ていますが、今後はいろいろな情勢を鑑み、名取市教育委員会

と話し合い、検討していきたいと思えます。

### その他の一般質問

**渡辺 ふさ子**

▼高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成を

▼安全・安心のまちづくり  
▼非核平和宣言都市としての施策

**梶谷 洋夫**

▼ごみの広域行政  
**大友 克寿**  
▼寄付金に対する仕組みづくり

**佐藤 一郎**

▼みやぎ環境税

**長田 忠広**

▼岩沼駅前整備事業

**渡辺 邦信**

▼放課後児童健全育成

**高橋 孝内**

▼野生鳥獣の農作物被害

## 情報化対策特別委員会の先進議会調査報告

情報化対策特別委員会では、平成22年10月6日から7日にかけて、秋田県仙北市議会、岩手県金ケ崎町議会へ行き、議会だよりに関する先進議会調査を行いました。

調査後、12月定例会（平成22年第6回議会）において、委員会の中間報告を行いましたので、そのまとめを報告します。

### 秋田県仙北市「10月6日」

#### ▼議会だよりの編集

仙北市の議会広報編集特

別委員会では、議会報の作成を行う時に議会事務局職員が編集にかかわらず、議員が全て行っていることは特筆される。しかし、委員の長期の任期が必須条件であり、岩沼市議会では任期を2年として運用していることから事務局との連携が必要である。

「いわぬま市議会だより」と見比べると、かわいらしいイラストなどを取り入れ、市民目線で編集を行い、親しみを感じて読んでもらおうとする姿勢がうかがわれる。



仙北市議会で調査中の委員

岩沼市議会においても、限られた予算の中で親しみやすさ、温かさ、柔らかさを

を出せるよう工夫して記事をつくっていくべきものと考える。

### 岩手県金ケ崎町「10月7日」

#### ▼議会だよりの編集

金ケ崎町の議会広報編集特別委員会では、他市町村で発行している優秀な広報紙を参考にしたり、積極的に新聞社に議会だよりのフリーニツクを依頼するなどして、より良い広報紙を発行しようとしており、その姿勢は岩沼市としても参考にするべきものがある。

金ケ崎町では、見やすく、ポリュームを持たせるために一人1ページを一般質問に使用し、町民に分かりやすく、議論の内容が伝わる編集を心掛けている。

その中でも、自由に議会での反省などを述べることでできる「つぶやき」は、議員の個性や本音が出ていて面白いと感じた。

岩沼市議会においても、創意工夫の上、12ページを目いっぱい使い、より市民が親しみを感じるような温もりのある紙面をつくる必要があると考える。



金ケ崎町議会で調査中の委員